

令和5年度 相馬市外部評価委員会 市事務事業の外部評価結果

【評価点】

8名の委員が事務事業ごとに事業の妥当性（必要性）や効率性（有効性）などについて5点満点で評価したものの平均点数。

- 【A評価 8事業】 事業は必要かつ有効であり推進することが妥当 (評価点 4.0以上)
- 【B評価 13事業】 事業の改善を図りながら継続することが妥当 (評価点 3.0~3.9)
- 【C評価 0事業】 事業の一部修正・再検討（事業内容・手法・規模・実施主体等）が必要 (評価点 2.0~2.9)
- 【D評価 0事業】 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要 (評価点 1.9以下)

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
1	市民のニーズに応える図書館サービスの提供	3.6	B	市民の読書意欲向上に向けて、読書の重要性を啓発し、幅広い市民のニーズに応えられるよう、外国語を含めた計画的な蔵書の充実に努めてください。特に幼児や児童生徒期の読書は成長過程において重要であることから、学校や各団体と連携した取り組みや、情報発信も積極的に行ってください。また、市民が気軽に図書館を利用できるように、クーリングシェルターとしての活用等により、貸出数だけにとらわれない利用者数の増加を促進するなど、図書館の新しい在り方を考え、市民に親しまれる図書館を目指してください。
2	いきいきそま健康ポイント事業	3.2	B	自分の健康は自分で守るという意識付けをして、市民の健康増進を図るという目的は理解できますが、現状では市民の認知度は低く、事業内容や市民が取り組むメリットの説明も不足しているように見受けられます。また、事業の目標設定が低すぎるため、事業の成果を見込みづらい内容となっています。国や県の方針に追随するだけでなく、市としての方針を十分に検討し、事業計画の見直しやPR方法の工夫をお願いします。
3	おくやみコーナーの設置	4.5	A	おくやみの手続きは、残された家族にとって、心身ともに負担のかかるものとなります。本事業は、市民の心に寄り添うサービスとして、今後大きく期待できる事業です。さらなるサービス向上のため、法務局や司法書士、金融機関等とも連携し、市役所以外の関係機関で必要となる手続きについても情報を提供できるようにすることを期待します。
4	放射線講演会等の開催、学校教育における放射線教育	4.1	A	原発事故から10年以上が経過し、記憶や関心が薄れてしまっていますが、事故の影響や対応を風化させることなく、これからも学校教育等を通じて後世に語り継いでいく必要があります。廃炉が完了するまでは長い年月を要しますので、その間、地道なデータの蓄積と正確な情報の提供をお願いします。さらに、市外、県外に対する不安の解消や安全性のPRについても対応を検討してください。
5	高齢者の権利擁護体制づくりの整備	4.0	A	高齢化が進行する中、安心して住み続けられる社会のための体制整備が必要です。成年後見人制度の利用促進はそのための一つの手段となりますが、対象となる高齢者の方の不利益にならないよう留意しながら事業を進めてください。事業推進にあたっては、目標設定や計画が抽象的な内容に留まっているため、より深掘りした具体的な検討をお願いします。
6	授業の質的改善と各学校の特色ある教育活動の支援	4.0	A	授業の質的改善は、子どもたちの将来の選択肢や可能性を広げるために重要であり、市の未来への投資でもあります。ICTの活用により学習環境を整えることや、地域との連携を通じて、子どもたちが夢や目標を持ち学ぶことに興味を持てるような、より良い教育環境の提供をお願いします。また、授業向上に向けては、多様な取り組みに対応するための教師の準備が重要となりますので、準備時間を確保するための対策も併せて実施してください。
7	行政区加入率促進策の検討と実施	3.2	B	人間関係や近所づきあいが希薄になりつつある現代において、従来からの行政区の在り方は見直すべき時期にあります。地区住民にとって、負担する会費に見合ったメリットを見いだせないなどの意見もあり、加入率低下の問題が顕著となっています。地域のコミュニティづくりは、災害時の互助体制の構築や、参画と協働のための仕組みなどの意義があり、住民サービス向上に寄与するものです。地区住民に対しそのような意義や理念をアピールするとともに、時代に合った仕組みを構築してください。
8	市職員の資質向上	3.8	B	市民が安心・安全に生活できるように、日々変化する社会情勢に対応して考え・対処できる能力を持つ人材の育成をお願いします。そのために、研修制度の充実と、人事評価制度の厳正な運用と定着化に努めてください。人事評価制度の運用においては、職員と上司とのコミュニケーションを通じて、職員が自らの役割を理解し、意欲的に職務に取り組むことができるようにすることが重要です。本制度を通じて、質の高い住民サービスを継続して提供できる組織文化が形成されていくことを期待します。
9	観光拠点の利活用とブランド化推進	3.9	B	観光業と周辺産業の発展は地方創生の実現のために不可欠です。相馬には野馬追に代表される文化や松川浦などの自然の恵みがあり、震災復興の過程で整備された「浜の駅松川浦」「磯部水産加工施設」「道の駅そま」や、「福とら」などの新しい資源もあります。これらを含めた市の資源を活用したり新たなアイデアを取り入れたりすることにより、相馬の観光地と観光産業がどのような方向性を指すのか、商工会議所や観光協会と連携し、ビジョンを共有しながら取り組みを推進してください。
10	適切な森林施業の実施	3.7	B	森林、里山の保全是、市街地や海の環境を守ることに繋がる大切な事業です。相馬市に広がる広大な森林の、機能的な面を考慮した上で整備の優先順位を考えるなど、中長期的な視点を持って事業を進めてください。併せて、林業に携わる人員の確保・育成や、地域と連携し地区を巻き込んだ事業の推進など、森林施業を継続的に実施するための持続可能な方策を検討してください。
11	空き家等の適切な管理	4.0	A	核家族化の進行や地震災害の影響により、相馬市においても管理不全の空き家や未利用の土地が目立つようになり、街の活気を損なう一因となっています。空き家バンクの創設により、不動産業者と連携して、空き家・空き地の情報を、移住希望者や災害で家を失った人、起業希望者など、必要としている人に適切に届ける仕組みを作ること、利活用が促進されることを期待します。
12	相馬市都市計画マスタープランの作成	3.7	B	相馬市が将来に向けて目指すべき都市像と、実現のための課題と整備方針を定める大切な計画となります。多面的な視点で計画作成に取り組んでください。計画作成に際しては、オープンに市民の意見を聴取し、特に、将来を担う若者世代の意見を大切にしよう努めてください。現時点ではまだ方向性が見えませんが、市民が意見を出しやすくするように、どのような都市計画を目指すのか、早期に方向性を見えるようにして、事業を推進してください。
13	橋梁・トンネル等の点検・維持管理	4.3	A	予防保全型でコストを抑えながら橋梁・トンネル等の維持管理を計画的に推進してください。推進にあたっては、計画が最適なものかどうかの検証を定期的に行ってください。通学路や生活道路の安全確保について、市には、市民に最も身近な窓口としての役割を期待します。国・県・市それぞれの道路の管轄はありますが、市民の安全安心な生活の実現のため、市民からの報告・相談に対し、迅速な対応がなされるように努めてください。
14	市長への手紙や投書箱を通じた市民からの直接意見聴取	4.1	A	これまでの要望や回答がHPに公開され、他の市民に共有されることで、市長の考えや市の取り組みを可視化することができており、とても良い事業です。今後も継続してください。回答の作成にあたっては、全ての市民の声にムラなく対応することや、実現が難しい要望に対して、市民の意図を十分に汲みだうえで回答ができるように努めてください。

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
15	婚活イベントの実施	3.0	B	結婚を希望する方に出会いの機会を提供することは必要な施策の一つであると思われます。本事業は県主体の事業で国の交付金による補助があるとはいえ、公金が投入されている以上は、その効果を見極めながら実施の是非や実施内容を判断していく必要があります。さらには、多様性が重視される社会で、従来の価値観を市が一方向的に押しつけることにならないように配慮をお願いします。
16	市営住宅の計画的な維持管理	3.6	B	今後も定期的な保守点検と必要な修繕を迅速に行い、建物周辺の環境整備も含め、居住している方々に良い生活環境を提供し続けることができるように努めてください。また、老朽化が目立つ住宅については、維持コストの面や、防災・治安維持の観点からも、段階的にも集約を図り、取り壊しと跡地の有効活用に繋げていく必要性を感じます。様々な困難を伴うことは予想されますが、維持管理と併せて綿密な計画を立てて進めてください。
17	企業誘致PR活動の推進	3.7	B	企業誘致は税収増加や働く場の確保、若者の流出防止につながる重要な事業です。根気強くPR活動を進め、更なる推進をお願いします。また、人材確保に当たっては、市内外へ誘致企業のPRを積極的に行い、市外から人材を招き入れることも念頭に置いて活動してください。
18	復興市民市場「浜の駅 松川浦」等の利活用	3.8	B	順調なスタートを切った浜の駅松川浦ですが、今後も安定した経営を継続する為には、様々な新規客層の掘り起こしや、リピーターを増やすこと、また地元消費者を取り込むことが必要と思われます。増設を契機に魅力的な体験参加型イベントの開催や買い物に付随するサービス提供などを拡充し、多くの来場者に選ばれる施設になるよう努めてください。併せて、店舗回りの景観の整備や、休憩スペースの整備など、利用者目線を意識した改善も継続的に行ってください。
19	防災訓練の実施	3.7	B	多発する自然災害による被害を最小にとどめるためには、市民全体の防災意識の向上が必要です。子どもから老人まで参加できるような防災訓練の実施を検討してください。また、各種団体においては個別に防災訓練を実施しているところもありますが、災害時における市の対応と整合を図る必要があります。そのために、市が実施する訓練と連携させることも検討してください。併せて、災害発生時には、事業者による被災者のサポートが必要となる場面が想定されます。そのために事前の協議や連携の検討をお願いします。
20	各種スポーツ施設の整備と利活用	4.0	A	相馬には多くのスポーツ施設と恵まれた自然環境・気候があります。旅行事業者や宿泊事業者とも連携して、施設規模に見合った適正な利活用方法を模索し、今後もスポーツ合宿や大会の誘致を推進してください。また、スポーツ施設の運営の質を高めていくために、運営スタッフの確保をお願いします。猛暑時における体育館の利活用促進や災害時の避難所としての活用を想定した場合、冷房設備の導入は今後の課題であると考えます。
21	子ども親善使節団による相互交流	3.1	B	事業開始当初と大きく時代背景が変わり、お互いのホームステイ受入を前提としていたこれまでの事業スタイルが一変し、参加のハードルが下がっているため、今後も希望者が定員を上回ることが想定されます。選考方法や自己負担額の設定が適切なものであったのか、子ども間に体験の格差が生まれないように、検証と見直しが必要です。姉妹都市との子ども同士の交流事業は、子どもにとって大変貴重な体験であるために、時代に即した交流の方法となるように、事業体系を再構築することを期待します。